

研究課題名: VEGF-A の質に着目した ANCA 関連血管炎の診断・活動性評価に寄与する評価法構築研究に関する情報公開

1. 研究の対象

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業、難治性腎疾患に関する調査研究の一環として、2011年4月から2013年12月までに「抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究」に登録された321名の患者

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：

ANCA 関連血管炎の診断・活動性評価・再燃予測のために、腎生検によらず、疾患特異的であり、かつ疾患活動性を反映する評価法の構築が強く望まれています。

これらを明らかにするために、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業、難治性腎疾患に関する調査研究の一環として、2011年4月から2013年12月までに「抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究」に登録された ANCA 関連血管炎患者さんの血清と尿を使用して total VEGF-A と VEGF-A_{165b} 濃度を測定致します。本研究結果を詳細に解析することにより、ANCA 関連血管炎の診断・活動性評価・再燃予測に貢献できる臨床検査への応用が期待されます。

方法：

「抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究」で収集された既存のデータシート、尿、血清を用いて血清・尿 total VEGF-A 及び VEGF-A_{165b} 濃度を測定します。

研究期間：

実施承認日～2019年3月31日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

「抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究」に登録された既存のデータシート等

試料：尿、血清

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学
准教授 坪井 直毅

研究分担者

名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門
臨床検査技師 菊地 良介

名古屋大学医学部附属病院検査部・輸血部
教授 松下 正

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学
教授 丸山 彰一

共同研究者

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学
准教授 佐田 憲映

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 総務課 TEL:052-744-1901

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学

准教授 坪井 直毅

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: (052) 741-2111(代表)